

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年7月8日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年7月4日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストラリア
留学先大学	西シドニー大学(日本語名) Western Sydney University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年2月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 3 月中旬～6 月下旬 2 学期: 7 月下旬～11 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 4 万人
創立年	1989 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (AUD)	日本円	備考
授業料	0	0円	明治大学に明治大学の学費をおさめていた。
宿舍費	\$7,930	793,000円	1ヶ月:122000
食費	\$3,500	350,000円	現地スーパーで購入
図書費	0	0円	
学用品費	\$120	12,000円	教科書1冊
携帯・インターネット費	\$160	16,000円	格安SIMのamaysimで契約した
現地交通費	\$350	35,000円	大学まではシャトルバスあり ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	\$200	20,000円	可愛い古着があったので買いました。
医療費	0	0円	
保険費	\$900	90,000円	形態:
渡航旅費	\$2,100	210,000円	
ビザ申請費	\$700	70,000円	
雑費	\$500	50,000円	
その他	\$3000	300,000円	旅行費用(メルボルン・Perisher Valleyでのスノーボード・ウルル)
その他		円	
合計	\$19,460	1,946,000円	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
<b>往路 出発地:</b> 羽田 <b>目的地:</b> シドニー <b>経由地:</b> <b>復路 出発地:</b> シドニー <b>目的地:</b> 羽田 <b>経由地:</b>
<b>渡航費用</b>
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:カンタス航空  料金:21 万  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:            料金:  復路 航空会社:           料金:                            ∴合計:
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:        ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:カンタス航空ホームページ) <input type="checkbox"/> その他(        )
<b>滞在形態関連</b>
<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:westernsydney student village) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2) 部屋の形態</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数        )
<b>3) 共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4) 住居を探した方法:</b>
大学付属の寮を検索し、オンライン上で申し込みをした。
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
物価 2 倍と円安で、すべてが高く感じました。夜、路上歩いていても問題ないくらい治安はいいです。風邪ひいた時、現地で支給されたものが市販薬であったので、日本から効き目のある薬を持ってくることをお勧めします。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: タウンホールクリニック)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本大使館からの連絡

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のWifiは基本繋がったが、大雨のせいで1回繋がらないことがあった。しかし、電話すると対処してくれた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座を現地で解説し、日本から持ってきた円を換金して入っていた。クレジットカードも併用し、足りない時は親に自分の日本の口座に入れてもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

効き目のある薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
40 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Business		国際ビジネス入門
科目設置学部・研究科	ビジネス学部	
履修期間	秋学期	
単位数	10	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義オンラインで受講後、2時間のチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Shveta Sharma	
授業内容	国際ビジネス入門	
試験・課題等	3回の小テスト、グループレポート1回、グループプレゼンテーション1回、期末テスト	
感想を自由記入	難易度は難しくなかった、現地生が多く交流できらのはよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing Principles		マーケティング原理
科目設置学部・研究科	ビジネス学部	
履修期間	秋学期	
単位数	10	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義オンラインで受講後、2時間のチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Munir Hossain	
授業内容	マーケティング入門	
試験・課題等	小テスト2回 レポート 期末テスト	
感想を自由記入	2000words のレポートや ポスター制作を通して、マーケティングへの理解が深まった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Enterprise Innovation and Markets	企業革新と市場
科目設置学部・研究科	ビジネス学部
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義オンラインで受講後、2時間のチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Neeru Sharma
授業内容	企業をする上で、経済的視点、マーケティング視点でどのように進めていけるか学ぶ授業
試験・課題等	グループレポート 小テスト 期末テスト
感想を自由記入	毎回グループディスカッションで、起業する上での案を出していく過程で、英語での発信力が高まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Marketing	国際マーケティング論
科目設置学部・研究科	ビジネス学部
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義オンラインで受講後、2時間のチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Shveta Sharma
授業内容	国際マーケティングのフレームワークとそれを用いた企業の海外戦略の策定
試験・課題等	レポート*3 中間テスト
感想を自由記入	企業が割り当てられて、どのように海外進出できるのか考え、レポートにするための授業で興味深かった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	協定留学選考
	10月～12月	留学手続き・寮の手続き
留学開始年	1月～3月	出国・学期開始の準備・秋学期開始
	4月～7月	講義・期末テスト・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

オーストラリアを選んだ理由は、移民が多く、多民族国家であるためです。その国際的な環境で、自分にはない考え方を吸収する目的で留学をしました。実際、「オーストラリア人の肖像画を描け」と言われていたら、どのような顔を書いていかわからないほど、多様な人がいる国でした。その中で、個人主義(欧米に多い)と集団主義(アジアに多い)の違いや直接的なコミュニケーションと間接的なコミュニケーションの違いなどを日常で学び、文化は善悪ではなく、相対的なのだと気づきました。日本にいと、少数がすることは良くないことであると捉えられることが多いと感じます。しかし、日本人とは異なる価値観を学んでいく中で、相手の価値観は単に自分と異なるだけであり、そこに善悪の判断基準は全くもっておかしいものだと感じるようになりました。このようなマインドセットは、外国人と働いたり、生活したりする中で大切なことであると考えます。交換留学を経て、このようなマインドセットを得られたのは自身の財産になりました。

治安はかなりいい国で、日本のように安全に暮らせました。当初、友達づくりに苦労しましたが、ルームメイトの仲を深めたり、交換留学生グループに参加したり、自分自身から行動を起こすことによって、親密な友達が作れたと確信しています。期末テスト後に行ったウルル旅行では、昼は Uluru 周りの散策や kings canyon、夜は満点の星空を見てキャンプをしました。日本とは比べ物にならない広大な土地で、自然の雄大さを存分に感じられました。一生忘れないであろう思い出になりました。

自然豊かで、いろんな人がいるオーストラリア。魅力たくさんですが、物価高にはかなり苦しめられました。オーストラリアのインフレと日本の円安のせいで、物価は日本の 2 倍以上で外食を気軽にできなかったです。コーラは 400 円、ラーメンは 2500 円などで食べたい・飲みたいものを自制する機会が多かったです。

これから留学を志望する人には、余裕を持った資金計画と留学する目標を明確にしてほしいと考えます。留学に向けて貯金をしたり、親にどのくらいのお金で十分なのか説明したりすることは大切だと思います。留学はあっという間に過ぎてしまいます。そのため、「何を軸に行動するのか」を自分の中で決めていて行動すればきっと満足のいく留学生在活が送れると考えます。